

乙 頁

お と さ だ

第49号 通巻9巻第8号
1990年3月31日 発行

守山市立埋蔵文化財センター
☎0775-85-4397

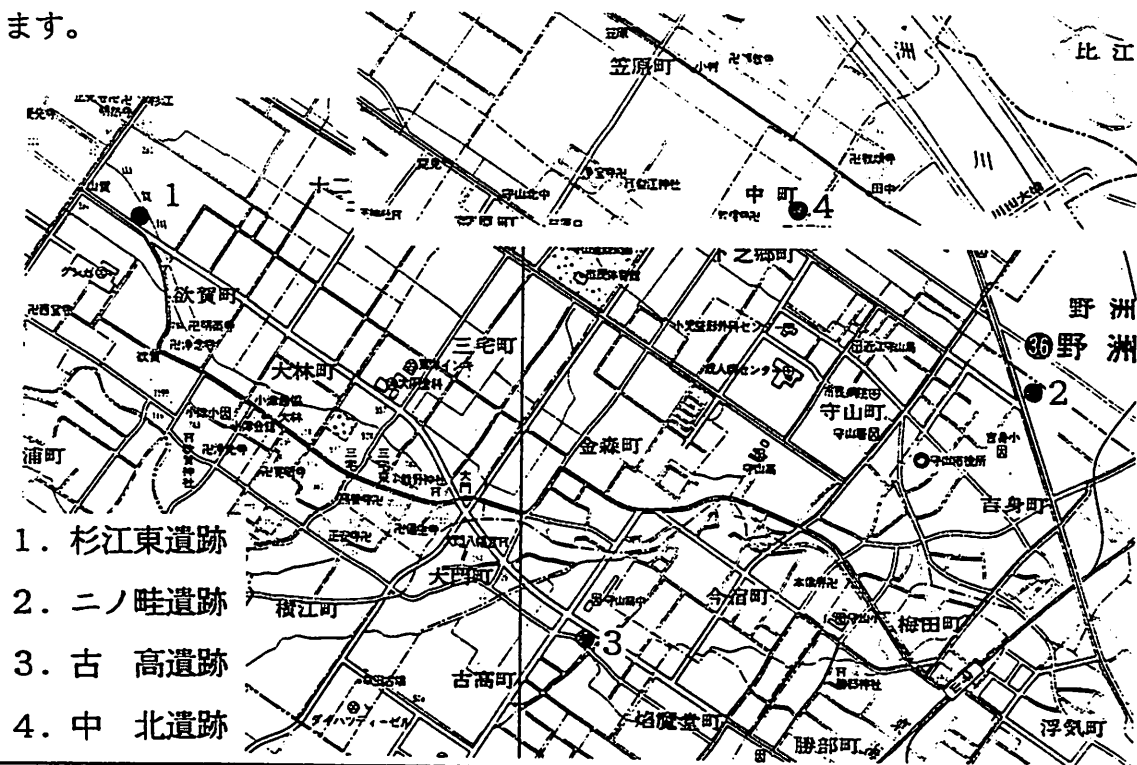
〒524-02
守山市服部町2250番地

2月末からの暖かな気候で草花も一気に芽を出し、今月に入ってからには県内のあるところでは、桜も満開近しということで、いよいよ春本番を迎えたようです。

さて、今号の乙頁49号は、1月以降に行なった発掘調査の成果と、昨年4月からこの3月までに実施した調査をまとめとして報告し、今年度の総括にしたいと思います。

◆発掘調査の成果◆

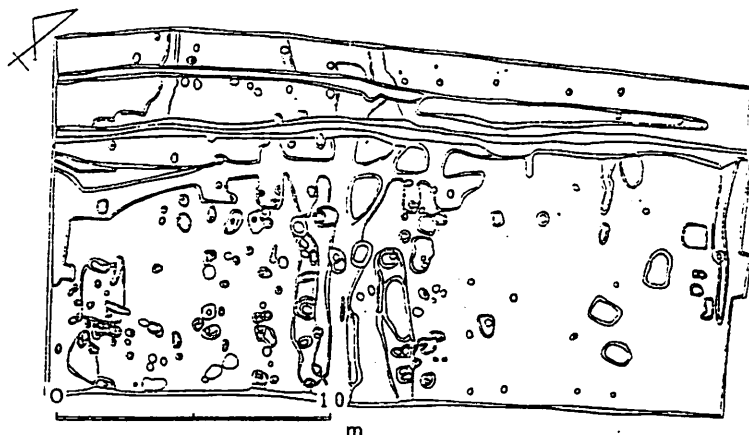
前号以降、実施した遺跡は^{すぎえのがし}杉江東遺跡、^{このあぜ}二ノ畦遺跡、^{ふるたか}古高遺跡、^{なかきた}中北遺跡があります。



1. 杉江東遺跡

守山市欲賀町字中島で、個人住宅の建築に先だって発掘調査を実施しました。この地点は市教委で守山川改修工事の際に発掘調査したところのすぐ西側にあたり、平安時代末～鎌倉時代の集落跡が広がるものと予想されていた場所で、調査の結果やはり集落跡が見つかりました。南側には4間×4間以上の総柱の建物跡が1棟みづかり、その他にも多数の柱穴があり、何回も立て替えのことがわかりました。この建物の西側と北側には幅50～70cmの溝があり、建物を区画する目的で掘り込まれたようです。なお、建物の北隅に掘られたピットからは土錘（網のおもり）が約30個もまとまって出土し、このムラにすんだ人々が川か湖で魚をとったことがわかりました。この土錘の穴には当時の糸がそのまま残っていました。

遺物は多量に出土し
土師器はじき小皿、皿、黒色こくしよく
土器皿、碗、白磁碗、
青磁碗、陶器とうきがあり、
ピットからはガラスの
小玉が2点出土してい
ます。



杉江東遺跡遺構平面図

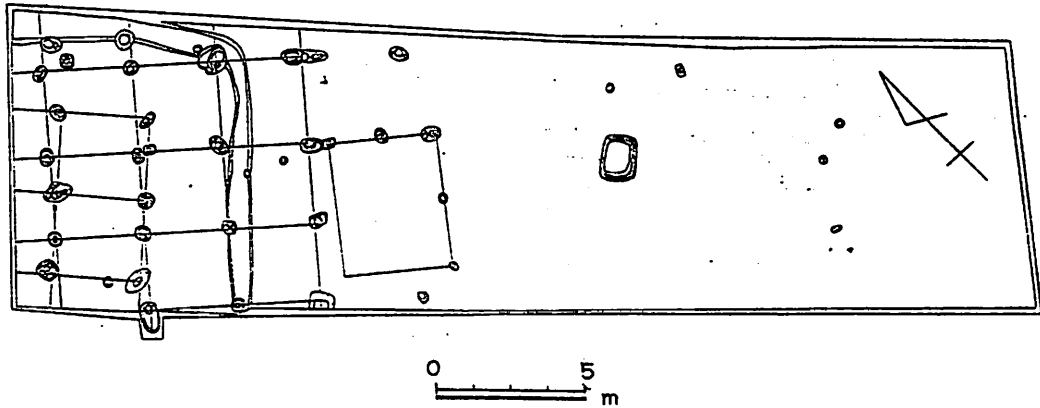
2. ニノ畦遺跡

吉身町と野洲町の境の字森尻というところで、個人住宅に先立つ調査を実施しました。弥生時代の環濠かんごうの外側にあたり、川の横の低い土地でしたが、耕作土を除去すると幅20～50cm、高さが15～20cmの粘土の帯おびが見つかり、その帯が約80cm間隔で何列も平行に並んでいることがわかりました。この粘土の帯は洪水で埋まっており細かい砂で覆われていて、その砂の中から江戸時代の陶磁器とうじきが出土したため、江戸時代頃の畑の跡で、粘土の帯は「畝」うねではないかと考えられます。なお、この粘土

畝は砂で埋もれているため、粘土の表面に足跡があることもわかりました。この畝の発見は市内は勿論、全国的にも珍しいものです。

3. 古高遺跡

市立南中学校の南側約 200mのところ、倉庫建築にかかる調査を行ないました。ここからは鎌倉時代初期の掘立柱建物跡と溝を検出しました。建物は2度建てかえられていて、溝はそのうち1棟をL字形に囲む排水用の溝と考えられます。古高遺跡はさらに南側に広がっており、一部は現集落と重複していることが確認されました。



古高遺跡遺構平面図

4. 中北遺跡

中町の北の端で、屋内作業場兼住宅の新築に伴って調査を実施しました。地面から約70cm程下で幅 1.6m、深さ40cmの溝、細長く浅い小溝とピットを検出しましたが、小溝とピットからはわずかな土器が出土しただけです。大きな溝からは古墳時代前期の土器が多数見つっています。この遺構の下にも土器が出土するため、掘り下げていくと壁面で畦状の高まりが見つかり、水田があることがわかりました。しかし、平面では捉えることは出来ませんでした。この下の土層から弥生時代後期の土器が出土していることからすると、水田の時期はこれ以降、古墳時代前期までのごく限られた時期に営まれていることがわかりました。

平成元年度調査のまとめ

元年度に行なった発掘調査は下記の一覧表のとおりです。19遺跡33件にも達し、年度当初の調査計画件数を大幅に上まわりました。これは好景気に支えられて民間の開発が増えたことが原因で、特に住宅関係が半数を軽く越えています。

調 査 一 覧 表

調査地点名	所在地	調査年月	原因
1 二町鏡遺跡	二町町字鏡	H・1,4	小学校建設
2 経田遺跡 1	今宿町字経田	〃	個人住宅建設
3 〃 2	〃 〃	〃	〃
4 金森東遺跡	守山町字七反ケ町	〃	〃
5 岡遺跡	岡町字寺前	〃	マンション建設
6 塚ノ越遺跡	古高町字横田	〃	社員寮
7 下長遺跡	古高町字北八重	H・1,4 ~H・2,3	工業団地造成
8 益須寺遺跡	吉身字園田	H・1,5 ~7	宅地造成
9 横枕遺跡 1	守山町字下横枕	H・1,5 ~6	資材置場
10 〃 2	〃 字皆鉢	〃	駐車場用地
11 〃 3	〃 字上ヌケ田	H・1,6	店舗建設
12 川田遺跡 1	川田町字南山の中	H・1,5 ~10	工場増設
13 〃 2	〃 字上山の中	H・1,11~H・2,1	宅地造成
14 吉身西遺跡 1	下之郷町字八作	H・1,4 ~5	共同住宅建設
15 〃 2	守山町字桑ノ本	H・1,6 ~7	貸店舗建設
16 〃 3	〃 字岩賀	H・1,7	倉庫建設
17 〃 4	〃 字中道	H・1,8	店舗付住宅
18 〃 5	〃 字南高田	H・1,12	個人住宅建設
19 〃 6	〃 〃	〃	〃
20 〃 7	〃 〃	H・2,1	〃
21 〃 8	〃 字高ノ後	〃	〃
22 酒寺遺跡	播磨田町字夕気	H・1,7 ~H・2,2	土地区画整理
23 下之郷遺跡 1	下之郷町字黒田	H・1,9 ~10	工場増設
24 〃 2	〃 字井上	H・1,10	個人住宅建設
25 寺中遺跡	矢島町字茶屋前	〃	公共施設駐車場
26 ニノ畦遺跡 1	守山町字北百ヶ町	〃	店舗建設
27 〃 2	吉身町字森尻	H・2,2	個人住宅建設
28 中北遺跡 1	中町字坪合	H・1,10	〃
29 〃 2	〃 字大上車	H・2,1	〃
30 笠原南遺跡	荒見町字上一本	H・1,11	資材置場
31 今浜城遺跡	水保町字三十一	H・1,12~ H・2,1	中学校建設
32 古高遺跡	古高町字北口	H・2,2	倉庫建設
33 杉江東遺跡	欲賀町字中島	H・2,2 ~3	個人住宅建設

以上のうち、遺構・遺物を確認した遺跡について調査の成果をまとめてみます。

縄文時代

今年度では二町鏡、吉身西、下長遺跡の3遺跡があります。二町鏡遺跡では後期の遺構と土器や石器などの遺物が見つかり、形に特徴のある石鏃が含まれていました。吉身西遺跡の場合、後期の土器が出土しているだけですが、集落が付近に存在していることが考えられます。下長遺跡では晩期にあたる土壙、ピットの検出と旧河道の中から土器や石棒、石斧などの石器が出土し、近くに生活跡があると思われる。

弥生時代

寺中、下長、酒寺、横枕、下之郷、吉身西遺跡の6遺跡8件の調査で弥生時代の遺構・遺物が見つかりました。寺中遺跡では2条の溝を検出し、中期前半の土器と石器がたくさん出土しました。下長遺跡からは、中期の円形竪穴住居跡2棟と掘立柱建物跡5棟が見つかり、2種類の建物があったことがわかりました。

酒寺遺跡では方形周溝墓という墓が24基も発見でき、中期の17基は墓道の両側に並んで、南北方向に約150mにわたって造られていました。一方、後期の墓は、少し離れたところで、向きを変えて続いていました。横枕遺跡での成果は、中期の大溝を検出しており、これが集落の西端を示す環濠とすれば、直径420m余りの大きさ近畿では2番目に大きな規模のムラとなります。環濠の内側でも調査があり、中期の遺構を確認しています。

下之郷遺跡では環濠とその内側で調査を行ないました。環濠は3条を検出し、多量の土器のほか、真ん中の環濠からは鹿の頭、木で作られた「戈」の柄の部分が出土しました。内側の調査からは、無数のピットと土壙、掘立柱建物跡を確認しました。

吉身西遺跡からは、後期の円形と方形の竪穴住居跡を検出しました。円形の住居は直径11mの大きさで、県内でも最大の規模となります。

古墳時代

下長、岡、金森東、吉身西、ニノ畦、中北、横枕、酒寺遺跡の多くの遺跡で調査を行ないました。下長遺跡では、旧河道の両側に弥生時代後期から古墳時代前期の竪穴住居跡や掘立柱建物跡が検出されていて、竪穴住居跡には外側に円弧状の溝を掘り込んだ住居もみられます。低湿地となった旧河道からは、石釧、管玉、銅鏃や農耕具をはじめ、建築部材、紡織具などの遺物が豊富に出土しました。また、珍しいものではやまと琴が出土しており、市内で5例目の発見です。後期には、ここが水田として利用されていたようです。中北遺跡では小さく区画されていて、水口を設けた水田跡が見つっています。

吉身西遺跡と酒寺遺跡からは前期の竪穴住居が見つかりました。酒寺遺跡の4棟のうち1棟からガラス玉や碧玉の玉製品が出土し、祭祀に関する遺物と考えられます。

後期の竪穴住居跡は岡、金森東、ニノ畦遺跡で見ついているほか、吉身西遺跡では7世紀中頃の掘立柱建物跡が、南北に棟を揃えて6棟見つっています。

奈良・平安時代

この時代の遺構は二町鏡、益須寺、下長遺跡で検出しました。益須寺遺跡では竪穴住居跡や掘立柱建物跡がありますが、市内にはここだけに奈良時代まで竪穴住居跡が残っています。

二町鏡遺跡の掘立柱建物跡は、奈良時代末から平安時代初め頃で、このこの頃までは南北を基準にして建てられていたと思われます。下長遺跡で見つかった平安時代中頃の掘立柱建物跡は、北から30度東へ振った方向にあり、その方向が現在の畑とあっていて、奈良時代の から変化していることがわかります。

鎌倉時代

川田、杉江東、古高、塚之越遺跡で遺構・遺物が見つかりました。川田遺跡では

平安時代末から鎌倉時代初期の掘立柱建物や井戸などがあり、屋敷の周りには畑が広がっていることがわかりました。杉江東遺跡では鎌倉時代、13世紀代の掘立柱建物跡が見つかっています。この二つの遺跡では建物の周りに溝を設けていました。

江戸時代

ニノ畦、吉身西遺跡で調査をしました。ニノ畦遺跡では、20cm～60cmの畝が80cmの間隔で有り、畑と考えられます。17世紀頃の遺物が出土しました。吉身西遺跡の溝は、用水路の跡と思われます。

以上、時代ごとにその成果をまとめましたが、これらの成果とともに課題も増えました。まず、縄文時代の遺跡は平地でも点々と見つかっており、早期から晩期までの生活跡が記されるまでになりました。その数は15遺跡にのぼりますが、特徴や性格はまだよくわかっていませんが、平地での生活が今まで以上に活動が活発であったことがわかりました。

弥生時代は中期から後期の集落や墓域などが多く見つかかり、最近にない調査成果を得ました。しかし、ムラとムラ、ムラと墓との関係などを考えれば、もっと当時の様子を知ることができると思われます。古墳時代もたくさんの集落跡を検出し、今までにない木製品が見つかり、木工技術や生活用具がよくわかるようになるでしょう。水田の検出は服部遺跡以来で、農耕を知る手掛かりを得られ、平野部での水田のあり方を考える必要があります。

奈良時代では、竪穴住居が確実に存在することが裏づけられましたが、この竪穴住居跡に住んだ人々の存在を考えねばなりません。鎌倉時代では建物跡が現在の土地地割りにあった方向で検出することが多く、条里と莊園との関わりを考慮する必要があります。江戸時代はこれまであまり重要視されることはなかったのですが畑など生産に関わる遺構の確認によって当時の生活の様子を知ることが可能になりました。

このように発掘調査では成果があるとともに課題も生じてくるわけで、今後調査はたえずこのような課題を頭に置きつつ、調査を進めていかなければなりません。

調査遺跡の時代

調査遺跡番号・遺跡名	時代	
1	二町鏡遺跡	縄文時代後期～平安時代後期
4	金森東遺跡	弥生時代中期～平安時代後期
5	岡遺跡	縄文時代後期～鎌倉時代後期
6	塚ノ越遺跡	縄文時代後期～鎌倉時代後期
7	下長遺跡	縄文時代晩期～平安時代中期
8	益須寺遺跡	古墳時代前期～平安時代前期
9～11	横枕遺跡	弥生時代中期～後期
12	川田遺跡	弥生時代前期～明治時代
14～17, 21	吉身西遺跡	縄文時代後期～平安時代後期
22	酒寺遺跡	弥生時代中期～古墳時代後期
23・24	下之郷遺跡	弥生時代中期～古墳時代後期
25	寺中遺跡	弥生時代前期～平安時代中期
26・27	二ノ畦遺跡	弥生時代中期～江戸時代中期
28・29	中北遺跡	弥生時代後期～古墳時代前期
32	古高遺跡	縄文時代後期～鎌倉時代後期
33	杉江東遺跡	古墳時代後期～鎌倉時代後期

〈講演会を開催〉

去る3月25日に「^{ゆきのやまこふん}雪野山古墳を掘る」と題して、講演会を開催しました。当日は、古墳の発掘調査を担当された、八日市市教育委員会の石原道洋さんを講師として迎え、スライドを交えて発掘調査の^{けい}経緯や調査方法、出土品の説明などについて講演して頂きました。30人を越える^{ちやうしやうしや}聴衆者は、熱心に聞かれ、予定時間の1時間半は^{また}瞬く間に過ぎてしまいました。

〈下長遺跡で現地説明会を開催〉

下長遺跡では、3月17日に2回目の現地説明会を行ないました。今回は、昨年9月に実施した説明会以降の調査成果と、これを含めて1年間のまとめとして現地で検出した遺構の説明、出土した遺物を展示し、報告しました。遺物では旧河道の中

元年度センターの開催事業

年・月	開 催 事 業
4 月	
5 月	★ 春季特別展「昭和63年度調査速報展」 期間 5月3日～14日 行事 5月3日 スライド会
6 月	◎ 友の会 「日本列島発掘展」見学 6月17日 野洲町立歴史民俗博物館
7 月	7月15日 29日 吉身西遺跡現地説明会
8 月	★ 夏季特別展「奈良時代の野洲郡」 期間 8月13日～8月20日 行事 8月20日 講演会 「木簡のはなし～木簡と奈良時代の生活」 綾村 宏氏
	8月26日 川田遺跡現地説明会
9 月	9月16日 下長遺跡現地説明会
10 月	◎ 友の会 県外研修 10月28日 福井県立若狭歴史民俗資料館 明通寺 高島町立歴史民俗資料館鴨稻荷山古墳
11 月	文化財講演会 「水中考古学の成果から」 11月11日 伊庭 功氏
	11月4日 酒寺遺跡現地説明会
12 月	体験学習会 発掘調査・火起し・石器作りに挑戦 12月3日 於 下長遺跡
1 月	
2 月	◎ 友の会 スライド会 「平成元年度発掘調査速報」 2月24日
3 月	3月17日 下長遺跡現地説明会
	講演会 「雪野山古墳を掘る」 3月25日 石原 道洋氏